



連合駿台会報

No.364 令和6年1月20日発行
発行・編集 連合駿台会

発行人 広報委員長・齋藤柳光
編集人 事務局長・矢嶋まゆ子
〒101-0052 千代田区神田小川町三―一二
明治大学「紫紺館」内
電話 (〇三) 三二九六―四七四七
印刷 有限会社 美創

オール明治のリーダーとして 母校へ支援を

連合駿台会
会長
田村 駿



明けましておめでとーございませう

会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様と健やかな新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます

昨年は、三年余のコロナ禍も峠を越し円安などでインバウンドの観光客が急増するなど日常が戻ってきたのかかわらず、海の向こうでは長期化しているロシアによるウクライナ侵攻に加え、新たにイスラエルによるイスラム組織ハマス掃討のパレスチナ自治区ガザへの終わりの見えない戦闘状態に突入、一転波乱の様相を呈して、その不安材料から諸物価高騰等を招き実質賃金が大きく目減りする事態となっておりまして。更には年末に自民党の裏金疑惑が惹き起され

政治動向もただならぬ状況に追い込まれていま。それだけに大谷翔平選手の一〇〇〇億円ドジャース入りかひとときわ明るく心強い年越しの話題になったようにも思えてなりません。

さて、当会の昨年を振り返ってみますと、二〇〇人を超すご参加を頂いた九月十四日の「創立七〇周年記念例会」を始め、三月、五月総会、七月、十一月例会全てに一〇〇人を超える参加を得て、学内外に大きな存在意義を示すことができました。現在会員数は、三七六名と目標の四〇〇人には今一歩ですが、一年を通じた例会一〇〇人超えは初めてのことです。これも偏に会員の皆さまの強烈なご支援と熱い母校愛の賜物と存じます。

今年は辰年、古くから「時代が動き、努力が

実る」などといわれています。会の七〇年史と重ねれば一九六四年にはアジア初の前回東京オリンピックが開催され、二〇〇〇年にはBSデジタル放送開始、二〇一二年には京都大学の山中伸弥教授が、I S P細胞でノーベル生理学・物理学賞を受賞し、わが明治大学でも一九六四年の大学院開設、二〇〇〇年は駿河台中央図書館竣工、二〇一二年もグローバルフロントと中野キャンパス竣工と今日への地歩を固めております。

つきましては、七一年目の今年は一五〇周年に向け「前へ」と燃える母校の為に、わが連合駿台会もさらに貢献できるような皆さまと活動の輪を広げていきたいと考えます。「オール明治の団結と絆を深めリーダー的役割を果たす」と会の理念にもございます。それだけに、まずは我々の後輩として各界に羽ばたいて行く現役諸君になお一層の支援を注力できればと考えています。ご承知の通り、我が会はずでに大学支援委員会が中心となって学術賞、学術奨励賞の表彰や会員企業などの尽力で商学部、経営学部とビジネスインサイトを実施するなど多くの実績を積み上げてまいりました。今、社会は激しい潮流の中で我々もリスキリングを求められるように大きく変革を続けております。これまでの「学生のために」とどまらず、会員の皆さまのお力添えで「学生と共に」、次世代へ歩んでいければと思っております。

皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



二〇二四年も

連合駿台会の皆様と共に「前へ」

学校法人明治大学
理事長
柳谷 孝



二〇二四年の年頭にあたり、謹んでお慶びを申し上げます。田村会長を始め、連合駿台会の皆様には、昨年も学術賞・学術奨励賞、学生対抗ブレゼンテーション大会、ビジネス・インサイト（旧フューチャースキル講座）、リバティアカデミー寄付講座そしてホームカミングデーやシェイクスピアプロジェクトへの協賛など、本学に対し多大なるご理解とご支援を賜っており、学校法人を代表し厚く御礼を申し上げます。また、昨年は前身である茗水クラブの設立から七〇周年を迎えられ、二〇〇名を超える会員が出席され、盛大に記念式典が開催されましたこと、改めて心よりお慶びを申し上げます。次の創立八〇周年、そして来るべき創立一〇〇周年に向けて新たな歩みを進めてゆく連合駿台会のご発展を祈念しております。

さて、二〇二三年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行し、ようやく長いトンネルを抜けて、学生達が元気な刺にキャンパスライフを送ることができるようになりました。私自身も様々な式典やイベントに出席して学生や校友、ご父母等の方々と交流させていただく機会が増え、人と人とが直接接することの大切さを改めて実感した次第です。施設整備面においては、三月に競走部とサツ

カー部の新合宿所が竣工いたしました。それぞれの部にトレーニングルームやミーティングルームを完備した最新の合宿所となっております。サツカー部は昨年十二月の全日本大学サツカー選手権において四年ぶりの優勝を果たすなど、早速素晴らしい結果を出してくれました。また、四月には、生田キャンパス第二中央校舎（仮称）の建築に着工いたしました。生田キャンパスにおける多様な学びの推進や教育施設の充実を目的とし、「研究のMEIJI」として世界でのプレゼンスを高めていくための要所となることが期待されており、二〇一四年竣工の第一校舎六号館以来、十一年ぶりの新校舎が誕生することとなります。

また、今理事会も四年任期の最終年度を迎えておりますが、二〇二〇年度から二〇二二年度の三年間は、まさにコロナ禍の真っ只中といえる期間でありました。そのような中で、一昨年には創立一四〇周年記念式典の場において、次の創立一五〇周年となります二〇三一年に向けて本学のあるべき姿を示した長期ビジョンであります。「MEIJI VISION 150「前へ」」を学長と共に公表致しました。この中の「大学経営における全学ビジョン」の重点目標として、「一、施設整備計画」「二、情報化戦略」「三、財政計

画」「四、寄付金収入」「五、付属校政策」「六、職員人事政策・事務組織」「七、校友との連携強化」という七つの項目を掲げております。現在はその実現に向けて、より具体的なプランや目標数値を組み込んだ第三期中期計画を策定し、定期的に進捗状況を確認しながら、各年度の事業計画や予算編成に反映し、実行しているところでございます。

これらの重点目標を達成し、「MEIJI VISION「前へ」」を実現するため、私も先頭に立って学校法人明治大学を牽引してまいります。何と申しまでも各界のリーダーとして活躍されている連合駿台会の皆様からのお力添え程心強いものがございます。皆様との連携を強化し、「同心協力」を押し進めることで「世界に開かれた大学」そして「世界に発信する大学」として未来に輝き続ける明治大学を創ってまいりますと存じます。

結びになりますが、本年も引き続きのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、連合駿台会の皆様方のさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



さらなる飛躍を目指して、力強く「前へ」

明治大学
学長
大六野 耕作



二〇二四年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

就任当初より猛威をふるっていた新型コロナウイルスの扱いが季節性インフルエンザと同等の五類に移行し、社会全体が少しずつ前向きに動き始めてきました。その一方で、深刻化が増す少子化問題、未だに終わりの見えないロシアによるウクライナへの軍事的侵攻やパレスチナ・イスラエルの戦争、気候変動問題など、さまざまな課題が山積しています。

このような、「VUCAの時代」と呼ばれる予測不可能な現代社会にあっても、本学はこれらを好機と捉え、教育・研究を推進すべく、常に「前へ」歩みを進めて参りました。

昨年四月一日より明治大学活動制限指針がレベル〇に引き下げられたことで、キャンパスには学生や教員が集い、対面での教育・研究活動が行われています。単にコロナ禍前に戻るのはなく、オンライン授業での教育展開の可能性を追求し、対面より教育効果が高いと認められたメディア授業については、引き続き積極的に

活用しています。また、八月には文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」に採択されました。理系文系問わず全ての学部生が数理統計のリテラシーやコンピュータを用いたプログラミングやデータ解析のリテラシーを身に付けることができる文理融合型教育にも力を入れています。

施設面においては、各キャンパスの学生交流スペースをリニューアルし、学生の居場所の拡充や環境整備を図りました。さらに生田キャンパスにおいては、さまざまな学びの推進、教育施設の充実を目的とした「生田キャンパス第二中央校舎（仮称）」が二〇二五年春に竣工を予定しています。和泉キャンパスに二〇二二年に竣工した「和泉ラーニングスクエア」に続き、キャンパスに、新しい出会いが起るさまざまな仕掛けや工夫を数多く盛り込み、学生同士の交流が自然と生まれるような空間を創出します。人と人が出会うことで新たな価値観に触れ、その価値観が衝突することで新たなアイデアを生みだす。そういった人材育成を進めていきます。

本学が今後も選ばれ続ける大学であるためには、学術・学生交流を基盤に世界の大学と講義や研究、そして教員・研究者を共有する国を超えた「教育・研究の融合」を実現していく必要があります。そのためには、それを支える財政基盤が重要ということは論を俟ちません。欧州や米国では学長の主たる役割の一つとして、大学の研究リソースを社会に説明・発信し、それに対する評価を仰ぐことがあります。今後、優れた研究を行い、その果実を教育に還元していくために学長がこのような役割を果たすことが日本の大学にも求められてくると思います。二〇二一年の本学一四〇周年記念式典で理事長とともに公表した「MEIJI VISION 150—前へ—」にも掲げている「世界トップレベルの教育力ある大学」の実現に向け邁進して参りますので、皆さまに引き続きご支援いただけますと幸いです。結びにあたりまして、改めて皆さまに変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、連合駿台会のお発展と会員各位のご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



東武トップツアーズ株式会社

代表取締役社長
執行役員

百木田康二

〒131-0045 墨田区押上一ー一ー二
東京スカイツリービークスタワー三F
TEL 三六二二一六四五六
FAX 三六二二一八五七三

株式会社オズ

代表取締役
会長

菊池正紀

〒064-0821 札幌市中央区北二条西二丁目二一四
TEL 〇一一一六一五八四〇〇
FAX 〇一一一六四〇二〇〇〇
(目黒OFFICE) 目黒区青葉台3-183 THE WORKS 505

木下サーカス株式会社

代表取締役
社長

木下唯志

〒700-0822 岡山市北区表町三二二二二二
TEL 〇八六一三三一一〇四一一
FAX 〇八六一三三一一〇四九七二
E-mail:webmaster@kinoshita-circus.co.jp

アサガミ株式会社
マイプリント株式会社

代表取締役
社長

木村健一

〒100-0005 千代田区丸の内三一一一一
TEL 六八八〇一一二三九
FAX 六八八〇一一二二四〇

スルガ銀行株式会社

社外取締役
指名報酬委員長

草木頼幸

野村不動産ホールディングス株式会社

取締役会長

沓掛英二

〒163-0566 新宿区西新宿一ー二六二二
新宿野村ビル
TEL 三三四八七七八〇五

日本電子株式会社

代表取締役会長
兼取締役会議長

栗原権右衛門

〒196-8558 東京都昭島市武蔵野三一一一一
TEL 〇四二一五四三一一一一
FAX 〇四二一五四六一三三三三三
<http://www.jeol.co.jp>

日流通運輸倉庫株式会社

取締役会長

黒崎昭男

〒362-8570 埼玉県上尾市大字平塚二二六五一一
TEL 〇四八七七七七六四八九
FAX 〇四八七七七七六四九一

ESGミライ株式会社

代表取締役

小井戸亮文

〒101-0051 千代田区神田神保町二一一一七
神田神保町ビル七F
TEL 六六八五一一八一六〇
FAX 六六八五一一八一七〇

日本共同株式会社グループ
城南不動産販売株式会社

代表取締役
会長

小島清治

〒141-0022 品川区東五反田二一一二〇一四
TEL 三三四四一一三三三
FAX 三三四四一一三三三
(携帯) 〇九〇一一三三七一四三三三

株式会社スヴェンソンホールディングス

代表取締役
会長

児玉圭司

〒107-0052 港区赤坂一ー九一ー三
三合堂ビル五F
TEL 三五八六〇〇〇一
FAX 三五〇五一一五七九七

東神興業株式会社

社主
代表取締役

根田哲雄
根田吉雄

〒167-0043 杉並区上荻一ー二二二一ー九
TEL 五三三五一六八六一
FAX 五三三三五一六八六〇

一般社団法人健康ニッポン

会長

齊藤柳光

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町九四五
TEL 〇四八一六四四一〇〇八五
FAX 〇四八一六四四一〇〇三〇六

日本チェーンストア協会会長
株式会社イトヨーカ堂取締役会長

三枝富博

〒102-8450 千代田区二番町八一一八
TEL 六三三八一七二七五一一

レジエンドジャパン株式会社

代表取締役
社長

坂田英夫

〒163-0027 中央区日本橋一ー二一一一〇
東洋ビル
TEL 六二六五一一二四八
FAX 六二六五一一二四九

総合物流をはじめとする多彩なサービスを
“お客様のご満足”と“安全”をモットーに
提供し続ける会社、それがアサガミです

 **アサガミ株式会社**
ASAGAMI

本社：東京都千代田区丸の内3-1-1
TEL (03) 6880-2200 FAX (03) 6880-2230
<https://www.asagami.co.jp>

<p>取締役会長 佐野公哉</p> <p>〒104-8312 中央区明石町六一四 TEL 六八三二一八七三</p>	<p>株式会社シテイハウジング 代表取締役 会長 佐藤仁</p> <p>〒144-0034 大田区西糀谷四一二八―一八 TEL 三七四二一七六〇七 FAX 六六二六―五六七七</p>	<p>学校法人明治大学 常勤監事 佐藤健</p> <p>〒101-8301 千代田区神田駿河台一―一 TEL 三二九六―四〇〇〇</p>	<p>株式会社アーバンコンサルタンツ 代表取締役 坂本道昭</p> <p>〒101-0021 千代田区外神田二―三―一七 アーバンファーストビル TEL 三二五二―二七五〇 FAX 三二五二―二七六〇</p>	<p>株式会社HEXEL Works (ヘクスルワークス) 代表取締役社長 執行役員 坂本孝行</p> <p>〒105-0012 港区芝大門一―一―一三〇 TEL 五四〇四―六七六三 FAX 三四五九―三三五六三</p>
<p>代表取締役 会長 瀬戸正道</p> <p>〒144-0051 大田区西蒲田七―四三―一―一 TEL 三七三三―四一七二―一 FAX 三七三三―四一七二―五</p>	<p>株式会社王子自動車学校 代表取締役 関口勝裕</p> <p>〒114-0004 北区堀船二―一―三―二八 TEL 三九一三―一七五二―一 FAX 三九一三―一七五二―三</p>	<p>株式会社日本カーゴエクスプレス 代表取締役 鈴木隆志</p> <p>〒105-0003 港区西新橋一―二〇―一九 TEL 五二五二―一〇二二―一 FAX 五二五二―一〇一〇―一 http://www.jecxp.co.jp</p>	<p>創業昭和五十六年 東都ゴルフ株式会社東都ジャパン 代表取締役 杉浦伸二</p> <p>〒103-0027 中央区日本橋三―八―一―一〇 TEL 三二八二―一〇八〇―一 FAX 三二八二―一〇八九―〇</p>	<p>株式会社廣澤精機製作所 代表取締役 社長 柴田清之</p> <p>〒300-4297 茨城県つくば市寺具一―三三―二―一―一 TEL 〇二九一―八六九一―一―一―一 FAX 〇二九一―八六九一―〇―一―三</p>



船用照明器具・船用配線器具・船用信号器具・船用配電盤
ヘリコプタ着船援助器具・高耐水性照明器具
ISO 9001:2008認証工場

— 信頼と実績に応え、未来に挑戦する集団 —

大石電機工業株式会社

代表取締役社長 **大石 哲也** 昭和63年工学部卒業
〒140-0011 東京都品川区東大井2-17-9
TEL 03-3761-2166 (代表)・FAX 03-3761-4851
<http://www.ohishi-denki.co.jp>

合同会社高澤ビジネスエイツ

代表 高澤 徹

〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川二一六―一三三
TEL & FAX 〇四五―二三六―四九七〇
(携帯) 〇九〇―二七五七―一六一〇
E-mail:ttkazawa@lily.ocn.ne.jp

ダイアナ株式会社

代表取締役 高橋 郁夫

〒150-0001 渋谷区神宮前一―八一六
TEL 三四〇五―四〇〇一
FAX 三四七九―八〇一四
学校法人明治大学評議員

学校法人新潟大原学園

理事長 高橋 淑浩

〒950-0086 新潟市中央区花園一―三―三
TEL 〇二五―二四六―八八八八
FAX 〇二五―二四六―一八八八

新日本建設株式会社

代表取締役 高見 克司

〒261-0021 千葉市美浜区ひび野一―四―三
TEL 〇四三―二二三―一〇一一
FAX 〇四三―二二三―〇七六四

株式会社タカムラ

代表取締役 高村 昌秀

〒155-0033 世田谷区代田五―七―七
TEL 三四一四―一五〇一
FAX 三四一三―〇七四七

連合駿台会

会長 田村 駿

〒154-0012 世田谷区駒沢二―四三―三
TEL 〇九〇―四三七〇―五三五二
北野建設株式会社顧問
(明治大学評議員会議長)

連合駿台会

専務理事 当山 明彦

〒101-0052 千代田区神田小川町三―二二二
TEL 三二九六―四七四七

徳丸織物株式会社

代表取締役 徳丸 平太郎

〒335-0001 埼玉県蕨市北町三―五―四
TEL & FAX 〇四八―四四三―二〇五〇

明治大学金融紫紺会副会長
明治大学雄弁部OB会会長
日本証券業協会金融証券インストラクター

富水流 孝二

〒170-0013 豊島区東池袋四―五―一
エアライスタワー八―六
TEL & FAX 三九八七―一八九九

株式会社ラシーヌ

代表取締役 永井 伸彦

〒154-0002 世田谷区下馬三―一四―一三
TEL 三四一九―二四二二
FAX 三四一九―六八八四



『防水と屋上を総合的にプロデュースする』

総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

〒120-0025 東京都足立区千住東2丁目23番4号
TEL 03-3882-2424

代表取締役社長 相臺 志浩



ミズ太郎

<p>株式会社ビッグKテニス 代表取締役 畠 中 君代 〒167-0053 杉並区西荻南三ー八ー一〇ー一〇〇一 TEL 〇九〇ー三〇六三ー六〇六二 FAX 三二四七ー六八八三 駿台体育会会長</p>	<p>公益財団法人新聞通信調査会 公益社団法人日本広告審査機構 理事長 西 澤 豊 〒104-8430 中央区八重洲二ー二ー二ー一 TEL 六六六四ー二九九七 FAX 六六六四ー八九九七</p>	<p>住友生命保険相互会社 常務 執行役員 中 野 祥 宏 〒104-8430 中央区八重洲二ー二ー二ー一 TEL 六六六四ー二九九七 FAX 六六六四ー八九九七</p>	<p>中根税務会計事務所 税 理 士 長 中 根 武 〒170-0003 豊島区駒込一ー一二ー一ー一六 レジデンス六義園一F TEL 三九四五ー八五九四 FAX 三九四五ー八五四一</p>	<p>株式会社ナガセイニングレックス 代表取締役 社 長 長 瀬 幸 泰 〒501-6997 岐阜県関市武芸川町跡部一三三三三ー一 TEL 〇五七五ー四六六ー二三三三 FAX 〇五七五ー四六六ー二三三五</p>
<p>株式会社松本商会 代表取締役 社 長 松 本 伸 一 郎 〒354-0021 埼玉県富士見市鶴馬三四六八 TEL 〇四九ー二五一一〇六一 FAX 〇四九ー二五一一八八〇〇</p>	<p>さくら保育園 園 長 松 崎 優 子 〒279-0011 浦安市富士見四ー六ー二八 TEL 〇四七ー三〇三三ー三九三七 FAX 〇四七ー三〇三三ー三九四七</p>	<p>フジ企画株式会社 代表取締役 藤 代 耕 一 〒221-0021 横浜市神奈川区子安通一ー二二二一六 TEL 〇四五ー四三三三ー〇一〇一 FAX 〇四五ー四三三三ー〇六〇〇</p>	<p>株式会社グリーンタワー 代表取締役 林 威 樹 〒261-0021 千葉市美浜区ひび野二ー一〇ー一三 TEL 〇四三ー二九六ー三六七六 FAX 〇四三ー二九六ー一三三五</p>	<p>ネットトヨタ水戸株式会社 取 締 役 社 長 幡 谷 公 朗 〒310-0851 水戸市千波町一 九八八 TEL 〇二九ー二四一ー三二二一 FAX 〇二九ー二四三ー二六四四</p>
<p>株式会社やまたけ 代表取締役 山 口 大 介 〒123-0841 足立区西新井五ー三三五一ー一三 TEL 三八九九ー三三七七 FAX 三八九九ー四六七二</p>	<p>学校法人明治大学 理 事 長 柳 谷 孝 〒101-8301 千代田区神田駿河台一ー一 TEL 三三九六ー四〇〇〇 FAX 三三九六ー四三二八</p>	<p>株式会社大同 フレンドシップカントリークラブ 代表取締役 村 山 友 彦 〒100-0014 千代田区永田町二ー四一ー一 フレンドビル TEL 三五八〇ー三四四七</p>	<p>株式会社ダイニチ 代表取締役 社 長 六 井 元 一 〒279-0002 千葉県浦安市北栄一ー一六ー一三 TEL 〇四七ー三五四一〇ー二三三 FAX 〇四七ー三五四一〇七七七 https://www.dainichi.co.jp</p>	<p>エフ株式会社 代表取締役 社 長 宮 下 隆 〒170-0005 豊島区南大塚三ー三二一ー一〇 TEL 五九五〇ー一〇一五〇 FAX 五九五〇ー一六八〇五</p>



寒中見舞いはがき

印刷承ります

〒206-0025 東京都多摩市永山 6-11-11
TEL 042-337-8111 (代表) FAX 042-337-8121
<http://www.myprint.co.jp>

マイプリント株式会社

MYPRINT

学校法人明治大学顧問
共同印刷株式会社社友

山口政廣

〒273-0047 千葉県船橋市藤原七一一四二〇四
TEL & FAX 〇四七―四三八一八六三五

株式会社山田債権回収管理総合事務所

代表取締役
山田晃久

〒220-0004 横浜市西区北幸一―一―一五
横浜STビル一八F
TEL 〇四五―三二五―三九〇一
FAX 〇四五―三三三―三九〇五

株式会社不二家

代表取締役
会長
山田憲典

〒112-0012 文京区大塚二―一五―一六
オーク音羽ビル
TEL 五九七―八八―一三三三
FAX 五九七―八八―六三三三

株式会社日本金属工業研究所

取締役会長
山田朝彦

〒113-0023 文京区向丘一―一六―一二
TEL 三八一―一七七―〇〇九
FAX 三八一―八〇〇―〇三三
公益社団法人日展理事・日本芸術院会員

株式会社バンダイロジパル

代表取締役
会長
弓野理恵

〒124-8585 葛飾区東四つ木四―四二―一五
TEL 三六九―五一一―五一一
FAX 三六九―五一一―五二六〇

カーネリアン税理士法人

代表
吉田光一郎

〒103-0026 中央区日本橋兜町一―一―一七
ビーエム兜町ビル五F
TEL 五六二―三二九―二〇二〇
FAX 五六二―三二九―二九二二

金魚の吉田 株式会社ヨシタ

代表取締役
吉田信行

〒124-0023 葛飾区東新小岩五―一四―一七
TEL 三六九―四一三―七五一一
FAX 三六九―四一三―七五三三

株式会社東京精密

代表取締役
会長CEO
吉田均

〒192-8515 東京都八王子市石川町二九六八―一二
TEL 〇四二―一六四―二二一七〇一
FAX 〇四二―一六四―二二一七九八

神道神習教・桜神宮

管長・宮司
芳村正徳

〒154-0014 世田谷区新町三―二―一三
TEL 三四二―九一〇―八六九九
FAX 三四二―九一七―四五二二

ワタヒヨウ株式会社

代表取締役
渡邊能宏

〒984-0015 仙台市若林区卸町三―一四―一二
TEL 〇二二―二三八―一七六二五
FAX 〇二二―二三八―一七八四一



連合駿台会十一月例会

「凹凸地形から知る江戸東京の魅力」

東京スリバチ学会会長

皆川 典久氏

連合駿台会の一足早い忘年例会が、十一月十三日(月)十七時五十分より、明治大学「紫紺館」で、皆川典久氏をゲストスピーカーとして開催されました。
当日の講演の趣旨は以下の通りです。

*



皆川典久氏

東京の凸凹地形に注目する

今日の私の講演は「凹凸地形から知る江戸東京の魅力」というテーマで、「東京の地形に着目して江戸東京を知ると、面白いことがわかる」というお話をさせていただきます。

図1は東京の地形をちよつと上空から眺めているところですが、今いる場所は本郷台地の突端に当たります。左側の緑や黄色で塗った標高10mから20mぐらいのところは新宿・池袋などがある「山の手台地」、そして右側の青いところ、標高では10mにも満たないようなところが浅草・錦糸町などがある「下町低地」。こういうふうな二つの特徴的な地形にまたがって東京中心部が位置している。ちょうどその境界に皇居があり、こういった都市の地形に着目しますと、まちの歴史や文化を紐解くヒントが見つつけられます。これに注目して二十年前に「東京スリバチ学会」を設立したのですが、最初の頃は、それ何？という感じでしたが、最近では「プラタモリでご存知かと……」と話す、理解してもらえるようになりました。

では、東京の凸凹地形に着目してみましよう。地図だけだと、道路や鉄道、建物、川などはわかりませんが、これに地形を加えるともっと興味深いことがわかってきます。私は「カシミール3D」というソフトを使っていますが、これは誰にでも作れます。この特徴

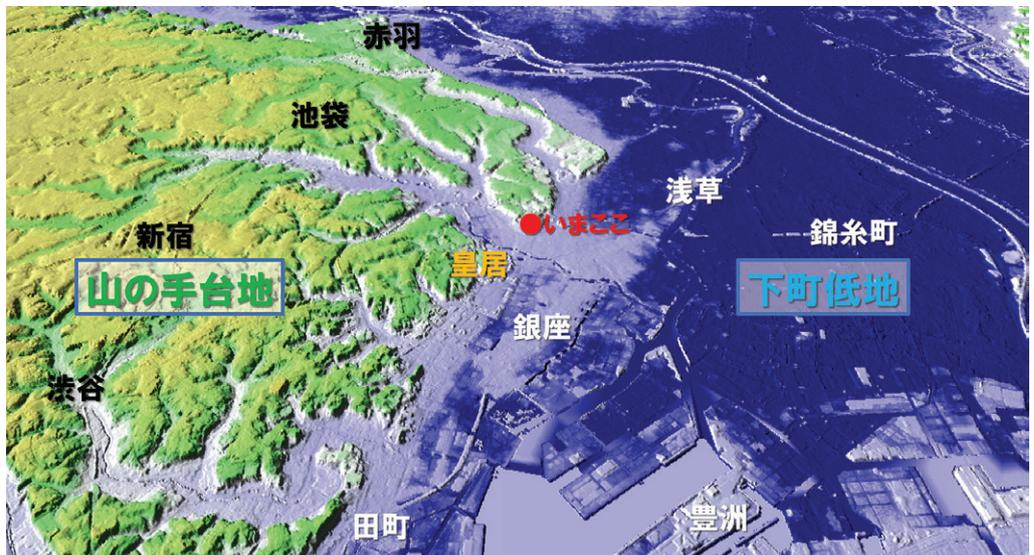


図1

は、地図に地形を重ねることで、カラーパレットをいじれるように陰影がつけられる、地図を外して地形だけにすることもできるので、面白いが見えてきます。
たとえば今の御茶ノ水駅周辺は御茶ノ水溪

谷、本郷台地を掘り割って造った人工の水路です。何気なく歩いています。実は歴史的な秘密も隠されているのです。この土地の高低差が、江戸の発展あるいは現代の街並みにも非常に深く関係しているのです。この辺りは山の手台地凸凹地形の中では、どちらかというと窪地です。神田明神は本郷台地の先端部に位置し、もともと神社は高台にありますから、この標高データを重ねた地形図ですと、北側に谷間があることがわかります。清水坂や樹木谷坂などがこの坂地に当たります。

こういった谷や坂地に着目するのは、皇居はもともと江戸城だったわけで、家康はこの地を選んで攻めにくく、守りやすいという場所にしたのでしよう。江戸城周囲を内堀、それをぐるりと囲む形で外堀を作りましたが、御茶ノ水溪谷は外堀の一部になるので、掘り割らなくてはならなかったのです。ましてここは江戸城に近い一番近い台地です。江戸時代初期までは、まだ世の中が不安定ですから、江戸城を攻めるとすれば、右側の湿地帯から来るとして陣を張るならこの本郷台地の先端のはずです。さらに攻め来る敵と言え、それは仙台藩伊達家に違いないと信じていたもので、仙台藩にこの御茶ノ水溪谷を掘り割らせました。ですから御茶ノ水溪谷は、別名で言うところ「仙台堀」とも言います。そしてこの本郷台地の先端には、自分が一番信頼できる家

臣、つまり自分の故郷・駿府から移住した者を住まわせましたので、ここが「駿河台」と呼ばれることになりました。

図2を見てみると、江戸城と四ツ谷駅の間にある千鳥ヶ淵辺りは内堀ですが、ここだけ見ると何となく形が不自然です。また四ツ谷駅南側・溜池辺りは外堀の一部です。実はここ、江戸にとっては大切な場所でした。この南は下町低地、家康が江戸に入った頃は、湿地帯か海でした。

東京駅よりも左側（海岸線も描いています）、ここが日比谷入江、東京駅から右側の半島状の島が江戸前島と言われているところです。右上の千束池というのは、江戸初期には湿地帯だったところで、それに対して浅草湊は自然堤防で、古くから町があったところです。この広範湿地の千束池もだんだん埋め立てられ、江戸が拡張していったという歴史を持っていきます。そういう意味では神田日本橋、それから江戸前島に当たる京橋・銀座周辺は、家康が江戸城に入ってから栄えた町だということが、地形でもよくわかってきます。平川は日比谷入江に注いでいた川で、神田川の原型ですが、これが今の日本橋川です。御茶ノ水溪谷のところ

を流れていた川は、今は神田川と言われています。こんなふうには川の流れを変えて東京の地形を改善して、江戸城を無敵の城とするとともに、百万人が住めるような町にしたいわけですか。どうですか、地形って面白くないですか？

もっと広域の地図地形図を見てみましょう



図2

(図3)。右側に荒川、左側が多摩川、地名では、新木場から国分寺あたりまでを示していますが、先ほどもお話ししましたように、緑のところは「山の手台地」、青いところが「下町低地」ですが、地図を外して地形だけに着目すると、「山の手台地」には無数の谷間が

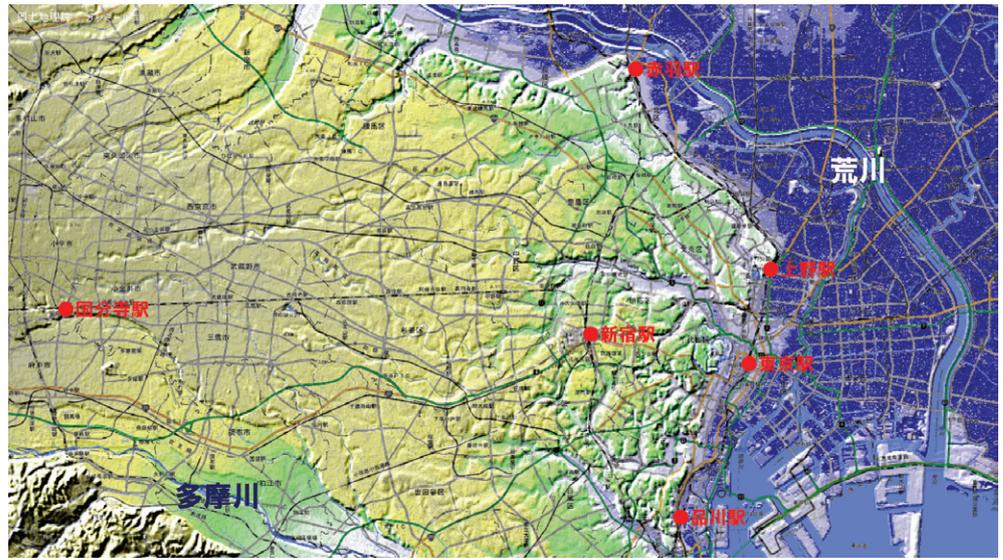


図3

刻まれているのがわかります。特に新宿から東京都心部が複雑な凸凹地形をしています。東京山手地区は「坂の町」と紹介されます。例えば有名なところでは、港区には櫻坂、櫻坂、鳥居坂。この鳥居坂と対峙して暗闇坂なんですね。どういふことかという、麻布十番が一番谷底で坂が向かい合っているということなんです。

大体東京は、坂と坂が向かい合っているような谷間が結構多い。例えば表参道原宿から青山本面に行くと、ゆつくりと下がって、また上がっていきます。この谷底に流れていたのが渋谷川という川で、それが今はキャットストリートになっています。千代田区番町辺りでも、千代田方面に向かう坂道があります。一番谷底が樹木谷坂、麹町の日テレ前通りでは急峻なくぼみがありますが、これは意識しないとなかなかわかりにくいです。

私がお案内する外国人の方々には、リアルな東京が見えてきた」ということで、故郷に帰ってスリパチ学会を立ち上げる方もいるくらいです。ただ皆さんはこの谷間の存在に気づいていないだけです。港区や新宿区もそうですが、あるいはこの辺りかな？ と考えて歩けば気が付くはずですよ。

この谷間を作ったのは何かというと湧水、湧水と流れる川、この流水が作ったスリパチ状の地形ということで、ちょっと分かりやす

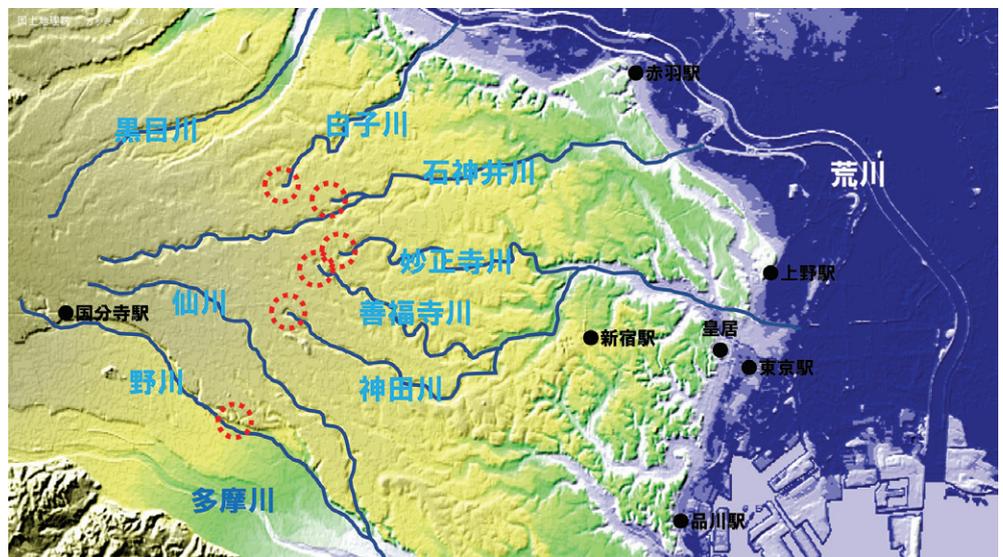


図4

くおさらいしてみましよう(図4)。武蔵野台地には多くのシワが刻まれていると紹介しました。これはいずれも川が流れて作った谷間で、この谷間を流れている川の源流部分。この図でいうと、ちょうどこの赤い点線のところから水が湧き出ています。これが武蔵野

台地の大きな特徴になっています。台地の途中で水が湧き出ている場所が、ほぼスリバチ状になっているんですけれども、それがどういう川になっているかというと、皆さんご存じの通り、石神井川、善福寺川、神田川、いずれも、水鉢状のところから湧き出た水が、東京湾に向かって流れている川なんです。武蔵野台地は、標高五十メートル（赤い点線のところと）、もつと高い七十メートル付近からも水が湧き出ています、こういった川が黒目川とか仙川とか野川になっています。家康公が命じたのは、飲み水確保のための水道施設ということで、妙正寺川、善福寺川、神田川の水を集めて、関口（現・文京区）に堰（ダム）を作ったんです。ダムを作って神田上水を作り、江戸の先住民が住んでいた神田地方に水を届けたのです。

ところで質問です。デイズニーシーの新しいテーマパークの名前を知っている方いらっしゃいますか？ 答えは「ファンタジー・スプリングス」。直訳すると「泉が湧き出る夢の国」ですが、私からすると東京こそが、「泉が湧き出る夢の国」なんです。スリバチはまさに泉が湧き出ている場所ですから、それが多数点在する東京は、私にとって本当の意味で夢の国そのものなんです。

東京の凸凹地形、特に都心が面白いよという紹介をしました。この都心部分を拡大して

みると、皇居やかつての江戸城の周りが特に激しくデコボコしていることがわかります。また、緑色のところに無数のスリバチ状の窪地があります、これはもともと流水が作った場所です。

私が最初に「スリバチ」という名前をつけたのは、コロンビア通りという青山通りから赤坂に抜けていく脇道で、「薬研坂」。薬研というのは、薬師が使った擦りつぶすり鉢のこと。昔の人もすりスリバチ状の場所に「やげんぼり」と名付けたように、そういった場所がたくさんあったということが、東京ならではの一つの特徴なのではないかと、いうふうにも思いわれるのです。

地形からわかる江戸・東京の都市形成

神田上水の話をしていきましょう。神田上水は、関口で神田川の水を掬いあげて神田地方に水を運びました。ただそれ以前は、最初に紹介した千鳥ヶ淵がその役割をしていました。千鳥ヶ淵は江戸初期に作られたダム湖なので、内堀なのにあそこだけ形が不自然なのは当然で、あれはまさに流れる川をせき止めて作ったダム湖ゆえの形をしています。

それからもう一つ、外堀のときに紹介をしました溜池ですが、あれもダム湖でした。千鳥ヶ淵と溜池……、これは東京のライフラインに非常に多く関係しています。千鳥ヶ淵は、

現在は花見の名所として有名ですが、江戸時代初期に作られたダム湖、今は「丸の内」となった日比谷入江は、外様大名たちに埋め立てさせました。それによって勢力拡大を防ぎ、宅地造成を進め、それによって戦なき世を実現しました。石田三成があればと言っていた「戦なき世などを作れるはずがない」という言葉を、見事に覆したのです。

もともと溜池があったところは、汐留川という川でした。ダム湖としては上流からの水をせき止めるという役割とともに、干満の差を利用して、魚を運んでくる海水を止めるという意味もあつたんじゃないか思います。赤坂の町、溜池のウォーターフロントの町の賑わいの町が生まれるっていうのは、江戸の頃から名所だった証拠です。

歌川広重が描いた赤坂見附の浮世絵でも、溜池がきちんと描かれています。山王日枝神社、溜池を挟んで赤坂の町ということになります。町並みは変わんですけども地形は変わらないのです。何気なく「外堀通り」と言っていますが、もともと溜池なり、外堀だった場所なんです。このダムも江戸時代は名所だったわけで、広重もダム自体の絵も描いていますし、結構浮世絵の題材にもなっています。このダムがどこにあったのかというと、特許庁とアメリカ大使館を結ぶラインにありました。地形的には、ちょうど台地が一

番狭まっているところで、山手の台地から低地に出ていくところなので、ダムが作りやすかった場所。アメリカ大使館前の道幅が広いのは、実はダムの上の道だったからなんですね。広重が描いた名所が残っていて、地形に着目するとそれがわかるんです。

この窪地地形を、江戸時代はどんなふうにご利用していたかというと、町人地（主に江戸城の東側）には、武家の生活を支えるために、町人や職人を集めていました。江戸城周辺の武家地は大名屋敷で、今の丸の内なんですけれども、その土地の高低差に合わせて町人地、武家地、あるいは農地であったというのがわかります。

いまでいう港区辺りですが、江戸城からするとちょっと郊外にあたるので、こういったところは下屋敷といって、実は大名庭園の別荘を作りました。大名庭園の中に、いくつかの池があります。これが現代の街にもきちんと残されています。有栖川宮記念公園、六本木ヒルズの毛利庭園などです。大名たちはこういうスリバチ状の窪地をうまく敷地の中に取り込んで、屋敷自体は丘の上、窪地の底で湧き出た水を使って池を作り、「池泉回遊式」の庭園を作りました。それが現代の街にもうまく引き継がれているので、都心の中で池のある公園を見たら、大体ここは元大名屋敷だったところですよ。

有栖川宮記念公園は盛岡藩南部家の下屋敷から有栖川宮家の御用地に、明治神宮御苑は肥後藩加藤家の下屋敷から彦根藩井伊家の下屋敷になって、公園として現代に引き継がれています。それから白金自然教園も、都会とは思えないほど緑が豊かですが、ここもやはりスリバチ状の湧き水を使った池があり、かつては高松藩松平家の下屋敷が、後に陸軍の火薬庫になっていました。目白の椿山荘もスリバチ状を生かした庭園で、明治の元勲・山縣有朋が購入し、庭や邸宅をつくりました。スリバチ学会では、このようなスリバチ庭園やスリバチ状の場所を「世界遺産に」と企んでいますので、皆さんも是非応援してください。地形的にも面白い自然遺産でもあるし、江戸時代の歴史を引き継ぐ文化遺産であるということにもつながり、全国どこへ行っても楽しめます。

皆さん、「まっぶる」の地図はご存知ですよ。まっぶるは消防庁から出ている地図で非常に詳しく書かれているので便利なんですけれども、どちらかというと車利用のために作られている地図なので、ちょっと便利すぎるといえるか、詳しくすぎる。そこで消防庁に直談判して、「東京二十三区凸凹地図」という形で、商品化してもらいました。

まっぶるから省略したものは番地とか建物名、今はネットで検索するので実はあんまり

【講師略歴】

皆川典久（みながわ・のりひさ）

一九六三年群馬県前橋市生まれ。東北大学工学部卒業。

二〇〇三年に東京スリバチ学会を設立、東京都内の凸凹地形に着目したフィールドワークを通じて、観察と記録を続けている。

二〇一二年に「凹凸を楽しむ東京「スリバチ」地形散歩」（洋泉社）を出版。「プラタモリ」などに出演し、今日の「地形ブーム」の火付け役となる。

二〇一四年に東京スリバチ学会としてグッドデザイン賞を受賞。

その他の著書に「東京23区凸凹地図」、「東京スリバチの達人・分水嶺北部編／南部編」（昭文社・二〇二〇年）や「東京スリバチ街歩き」（イースト新書・二〇二二年）など

使わないんです。それから、交差点名も、車を利用しないとあまり意味ないのかな、ということ、消しちゃいました。残したものは公園・神社・教会、これらは歴史的に大切なものだからです。それから街歩きする人にとっては大切なコンビニやトイレ、高齢化してくると、トイレがある場所は必要なんです。それからバス停とかランドマーク、誰でも利用できる公共施設。加えたものとし

ては、凸凹地形、階段、暗渠、暗巨、水路跡、それから、古道、石仏、石碑。大きな道と違い古道には、神社やお寺、庚申塚とかお地蔵さんが多くみられます。それから湧水スポット、川や谷の名前。それに加えて達人たちの一言コメントも書いてもらいましたので、是非ご覧いただければ幸いです。(以上)

◆新入会員ご紹介

前会までの理事会で承認され、入会された方をご紹介します。(敬称略・到着順)



宮里 勝之
昭和六十年・工法学部卒
アトミクス(株)・代表取締役社長
東京都練馬区住



吉田 菊次郎
昭和四十二年・商学部卒
(株)ブルーミッシュ
取締役会長
神奈川県横浜市在住



熊王 斉子
平成四年・法学部卒
島村法律会計事務所
弁護士(パートナー)
神奈川県茅ヶ崎市在住



宮澤 一洋
昭和五十八年・政経学部卒
ウエルネット(株)
代表取締役社長
北海道札幌市在住



酒井 喜壽
昭和六十二年・工学部卒
(株)安藤・岡
LCS事業本部 執行役員事業本部長
神奈川県相模原市在住

◆訃報

当会の元会長・明治大学元理事長の長堀守弘氏(昭和三十四年・文学部卒、(株)ナガホリ会長)が、令和五年十二月二十六日に逝去されました。享年九十歳。

会員の小暮敏範氏(昭和五十五年・商学部卒、元朝日航洋(株)代表取締役社長)が令和六年一月四日に逝去されました。享年六十七歳。ご冥福を心からお祈り申しあげます。

◆忘年例会景品寄贈者

十一月例会では、恒例のクジ引き大会を行いました。景品にご協力いただきました方々は、下記の通りです(五十音順・敬称略)
相澤淳一、青柳勝榮、浅井宏、安達明正、阿部倫明、有賀隆治、石田和士、泉山和久

井上欽也、猪田忠、伊原敏雄、今村健、宇川一夫、浦川竜哉、大澤健太郎、大野正美、大前実之、大村託現、奥住賢二、鬼塚和也、小山哲郎、金井健、加賀美猛、狩野省市、河村博、神林光、菊池正紀、北林幹生、木下唯志、木村健一、草木頼幸、沓掛英二、國井泰成、久保聡、小島清治、児玉圭司、小濱雅説、小林幹央、小松健、小山修、根田哲雄、根田吉雄、齋藤柳光、三枝富博、坂本道昭、佐藤健、佐藤仁、佐野公哉、志田憲彦、柴田清之、進藤健一、杉浦伸二、鈴木隆志、関根均、相臺志浩、高澤徹、高橋一成、高見克司、田代恭一(代理)、田中等、谷原誠、田村駿、辻井知明、当山明彦、徳丸平太郎、永井伸彦、中里猛志、長瀬琢磨、中村康一、西澤豊、根岸伸明、野口一哉、萩原裕次、畠中君代、幡谷公朗、馬場範夫、林威樹、平田桂子、深代尚夫、古本英樹、眞壁八郎、榎野泰、松崎優子、三浦栄治、水澤元博、水谷浩、宮下隆、六井元一、村岡健、村山友彦、室井恵明、柳谷孝、山口大介、山口政廣、山田晃久、山田朝彦、弓野理恵、吉田光一郎、吉田信行、みなさまありがとうございました。

◆十一月例会出席者

相澤淳一、青柳勝榮、浅井宏、安達明正、阿部倫明、同ご同伴、有賀隆治、池田一義、泉山和久、伊東正博、同ご同伴、井上欽也、

猪田忠、伊原敏雄、今村健、上西紘二、宇川一夫、潮田伊佐夫、梅野修、榎本知佐、大澤健太郎、大野正美、大前実之、奥住賢二、奥村勝広、同ご同伴、鬼塚和也、小山哲郎、加賀美猛、狩野省市、栢森靖、河村博、神林光、菊池正紀、北林幹生、木下唯志、木村健一、草木頼幸、杳掛英二、國井泰成、久保聡、栗原権右衛門、小井戸亮文、小島清治、小濱雅説、小林幹央、小松健、小山修、小山有彦、根田哲雄、根田吉雄、齋藤柳光、三枝富博、同ご同伴、坂田英夫、坂本道昭、佐藤健、佐藤仁、佐野公哉、志田憲彦、柴田清之、進藤健一、杉浦伸二、鈴木隆志、関根均、瀬戸正道、相臺志浩、高澤徹、高橋一成、高見克司、田代恭一(代理)、田中等、谷原誠、田村駿、田村健、樽見俊之、天童美德、同ご同伴、当山明彦、徳丸平太郎、富水流孝二、永井伸彦、中川敏洋、中里猛志、長瀬琢磨、中野祥宏、中村康一、二井康夫、西澤豊、根岸伸明、野口一哉、萩原裕次、長谷川進一、畠中君代、幡谷公朗、馬場範夫、林威樹、平田桂子、平田静子、深代尚夫、同ご同伴、福田和彦、古本英樹、堀越孝、眞壁八郎、横野泰、同ご同伴、松崎優子、三浦栄治、水澤元博、水谷浩宮下隆、向井眞一、村岡健、村山友彦、室井恵明、柳谷孝、山口大介、山口政廣、山田晃久、山田朝彦、山村明好、弓野理恵、吉田光一郎、吉田信行、同ご同伴

**経済、法曹、文化など各界でご活躍の明治大学OB諸氏よ！
来たれ！「連合駿台会へ！」**

あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。

昨年(2019年)は連合駿台会70周年という記念すべき年を迎え、200人を超える参加者の下、盛大に記念例会を催すことができました。これも、これまで明大卒であるという誇りを胸にご尽力いただいた多くの先人のおかげに他なりません。さて、ここからは会の100周年、200周年と続けていくために、今、経済・法曹・文化などの各界において現役で活躍されているOBの方々のお力に大いに期待しています。

ぜひわれわれと一緒に活動していただければ、と切に望むところであります。世界各地で起きている戦争や紛争、わが国の経済力の衰退など解決せねばならない課題は山積みです。これらの課題も、お互いに分かち合いながら会を推進していければと願っております。今年もよろしくお願いたします。

連合駿台会会長 田村 駿
(明治大学評議員会議長)

資料のご請求はこちらまで **連合駿台会事務局** TEL: 03-3296-4747 FAX: 03-3296-4748 HP: <https://www.rengosundaikai.jp>
Email: rengosundaikai@silk.ocn.ne.jp

★明治大学広報(1月1日号)に掲載された大学への支援広告。今後も2ヵ月に1回掲載していく予定です。

【編集後記】

あけましておめでとうございます。と声高らかに新春をことほぎたいところですが、二〇二四年の幕開けは誰もが予想だにしない正月になりました。

一日も早く被災地の復旧と今回の災害で亡くなられた方々、そして、航空機事故で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするばかりです。

いかに何でもない日常が当たり前の日々ではない感謝すべき日常なんだと言うことに気づかされます。そんな思いを抱きながら、今年も明るい光のさす年になることを願わずにいられません。

さて、恒例大学箱根駅伝は明治大学は惜しくも二十位と言う結果に。

古い話になるが、一九四九年第二十五回大学駅伝で明治大学が優勝を果たし、それ以降残念ながら記録を更新していない。私が生まれたのが一九四八年だから、ちょうど一歳の時。なんと七十五年前のことである。

大学駅伝の歴史は第一回目が一九一〇年から一〇四年続いている。

「続ける」ということは本当に尊いと思う。生来のあきつぽい私ですが、それでも物事を「続ける」ことの意味、意義は痛いほどわかってる。

成功する人が必ず、しかも無意識に行っていること。それは①好奇心を持つ、②行動する、③あきらめないの三つだそう。

なかなか難しいが、二〇二四年この三原則をやってみようと思う。

(平田静子)